

やってみよう!簡単に組みめる

夏の省エネ



地球温暖化に伴う極端な豪雨や水害などが頻発

地球温暖化による気候危機の状況が深刻さを増しています。

気温の上昇だけでなく、世界各地で超大型台風、干ばつ、洪水などの異常気象や気象災害が頻繁に発生しており、多くの方が亡くなるケースも発生しています。

日本でも各地で40℃を超える暑さや集中豪雨などが発生しています。

2021年8月豪雨による水害



(出典：国土地理院)

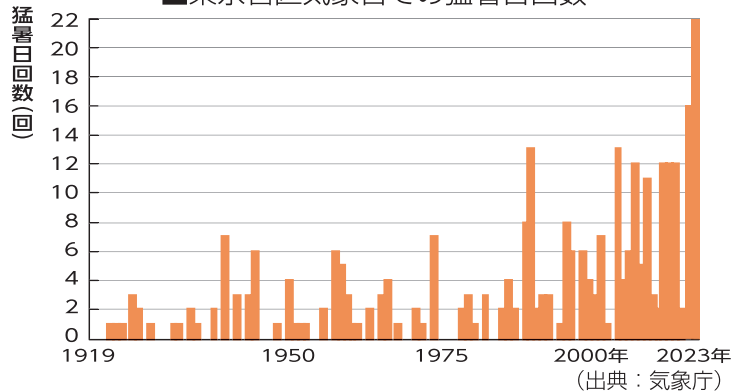
東京も例外ではありません

2023年には、東京都心の猛暑日(※)の回数は過去最多の22回を記録するなど、猛暑日は増加傾向にあります。

また、集中豪雨の発生頻度も増加傾向にあり、都内各地で床上浸水などの浸水被害が発生しています。

※最高気温が35℃以上になる日

東京管区气象台での猛暑日回数



(出典：気象庁)

HTTとデコ活

東京都では、電力の「HTT」(Ⓜへらす・①つくる・①ためる)と脱炭素に繋がる新しい国民運動「デコ活(※)」をキーワードに、脱炭素社会の実現とエネルギーの安定確保に向けた取組を推進しております。

特に、冷房の使用などで電力消費量が多くなりやすい夏は電力の削減<Ⓜへらす>がポイント!

家族みんなで暮らしを見直し、工夫することで地球にも家計にもやさしい省エネに取り組みましょう!

※デコ活とは、CO₂を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。



エアコンの上手な使い方！

夏の家庭における1日の電力消費の中で、エアコンによる消費が約3分の1*を占めます。冷房時の室温は28℃が目安。家の中での熱中症や換気にも気を付けながら室温調節して、無理のない範囲で省エネしましょう。

*資源エネルギー庁推計



- **フィルターを掃除** 月2回を目安に、フィルターを掃除しましょう。
(目詰まりすると、吸い込む空気の量が減り、冷やす力が小さくなります)
- **扇風機も併用** 扇風機を使えば、涼しい空気を循環できます。
- **風向きは上向き・水平に** 冷気は下降するため、羽根の向きは上向き・水平に
- **室外機周りに物を置かない** 排気をスムーズにしましょう。
- **オン・オフを繰り返さない** エアコンは設定温度に達するまでに大きな電力を使い、そのあとは比較的小さな電力で室温を保ちます。そのため、頻繁なオン・オフは省エネにならないこともあります。

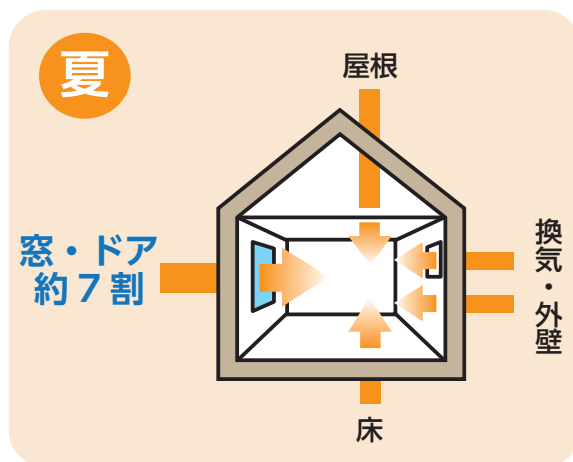
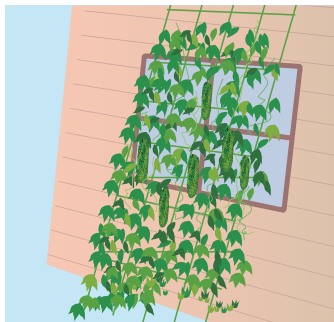
※お掃除機能付きエアコンについても、定期的なメンテナンスが必要な場合があります。詳細は取扱説明書等をご確認ください。

暑さは窓・ドアからやってくる！

夏の冷房時に、外から室内に伝わる熱の7割超*は窓・ドアからです。窓の断熱性能を上げるとともに、夏は日差しを遮り、冷房効果を高めましょう。

日差しを遮るのは、住宅の内側よりも外側で行う方が効果的

すだれや日よけ（シェード）、緑のカーテンなどがおすすめです



*一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会より

お湯の省エネも忘れずに！

家庭で1年間に使うエネルギーのうち、給湯用は4割超*となっています。夏はシャワーの利用が増える季節。お湯の使い方にも気を配りましょう。



1人5分、家族3人で約180リットル

II

浴槽約1杯分

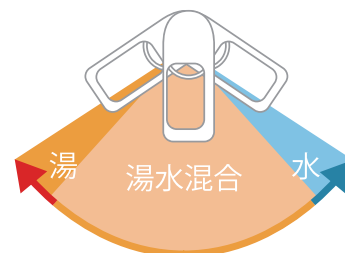
レバーを上げる位置に注意！

シングルレバー混合栓は、レバーを正面で上げると水とお湯が混ざって出てきます。お湯が必要ないときは、水側(最も右側)で上げましょう。

比較的簡単で効果が高い取組は？

節水型のシャワーヘッドへの交換で、お湯の使用量が2～3割減らせます。自分で簡単に交換できます。

*都における最終エネルギー消費及び温室効果ガス排出量総合調査(2021年度)より算出



夏になったら設定を変えよう!

機器の設定を、1年中同じにしていますか? 季節ごとに設定温度の変更をすると、継続して省エネ効果が得られます。夏になったら設定温度を変えて、かしこく省エネしましょう。

温水洗浄便座

- 便座暖房、洗浄温水はオフに



タイマーや節電機能がある製品は設定しましょう

冷蔵庫

- 冷蔵庫の設定を「強」ではなく「中」に
- 冷蔵庫にはものを詰め込みすぎない



「中、弱」にしても心配無用!

「中」や「弱」にすると、「強」よりも庫内の温度は高くなりますが、食材の保存に適さない温度ではありません。扉を開ける時間を短くすることや、熱い物は冷ましてから入れるなどして、庫内の温度を上げないように工夫した上で、設定してみましょう。

テレビの設定変更でも省エネ

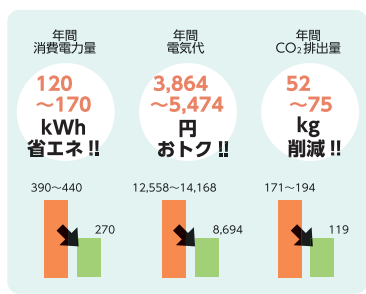
テレビの画面は、明るいほど、多くの電力を消費します。差し支えない程度に明るさを抑えましょう。製品によって異なりますが、「映像調整」などのメニューで明るさの変更ができます。



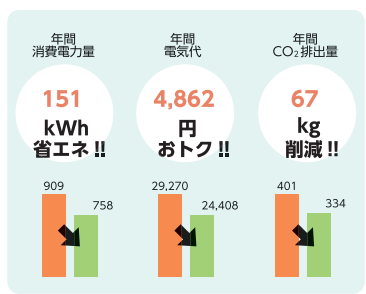
エアコン、冷蔵庫は買替えてさらに省エネ!

家電製品の省エネ性能は、年々向上しており、買い替えるだけでも大きな省エネが図れます。買い替える時は部屋の広さや家族の人数に適したサイズにし、どのような機能が必要かをよく考えて選びましょう。

機器を買い替えたら
冷蔵庫 10年前と比べて



エアコン 10年前と比べて



お店でこのラベルをチェック!
統一省エネルギーラベル



★5つが
もっとも省エネ





ラベルのチェックポイント

- 1 ★の数が多い
- 2 Eのマークが緑色
- 3 目安電気料金が安い

省エネ家電等への買替えがお得になります!

都では、一定の基準を満たす対象製品への買替えがお得になる「東京ゼロエミポイント」事業を行っています(予算がなくなり次第、終了)。令和6年10月から申請方法の変更及び支援拡充の予定です。詳細はHPを御確認ください。

令和6年9月までの購入分		令和6年10月以降の購入分	
対象	エアコン、冷蔵庫、給湯器、LED照明器具への買替え	対象	①エアコン、冷蔵庫、給湯器、LED照明器具への買替え(製造から15年以上経った長期使用家電からの買替えにはポイントの上乗せあり) ②高効率な新規家電の購入
内容	対象製品購入後、申請いただくことで、ポイント相当分の商品券及びLED割引券を送付します。 	内容	登録店舗で対象家電等の購入時に販売価格から付与ポイント相当分を直接値引く方式に変更します(商品券及びLED割引券への交換は廃止)。 ※購入時店舗での申請が必要です。 
問合せ	コールセンター ☎0570-005-083 ☎03-6634-1337	問合せ	コールセンター ☎0120-083-255 ☎03-6834-2621

照明をLEDに!

都内の家庭における1年間の電力消費の中で、最も多い割合を占める家電製品は照明です。省エネ効果の高いLED照明のご使用をおすすめします。

	蛍光灯シーリングライト	LEDシーリングライト
電気代	4,379円/年	2,190円/年
寿命	6,000時間	40,000時間
電気使用量	136kWh/年	68kWh/年

電気代、電気使用量は、年間の点灯時間を2,000時間、電気料金を32.2円/kWh、消費電力を蛍光灯シーリングライトは68W、LEDシーリングライトは34Wとした場合の試算

電気代がお得

長寿命

省エネ

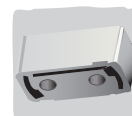
他にもこんなメリットが!

- オン・オフの繰り返しに強い
- スイッチオンですぐに明るい
- 虫が寄り付きにくい



シーリングライト等のLED照明器具への買替えは東京ゼロエミポイントの対象になります。これを機に、ご自宅の照明をLEDにしてみましょう!
(詳細は前ページをご覧ください)

引掛シーリングの例



角型引掛シーリング

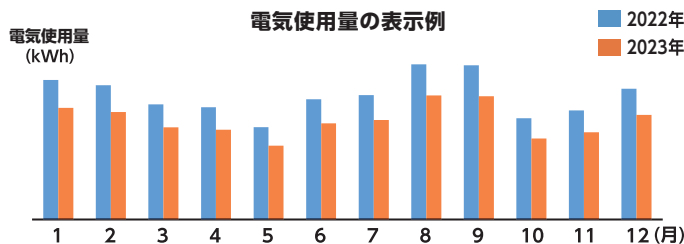


丸型引掛シーリング

家の電気使用量を見てみよう!

近年では、電気の使用量が30分ごとに計測・記録でき、通信機能がついた電力計(スマートメーター)がほとんどの家庭に設置されています。契約している電力会社のウェブサイト等で、電気の使用量を確認してみましょう!

※契約先の電力会社により確認方法は異なります。



契約アンペアの見直し

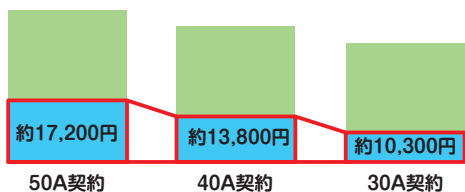
現在と過去の電気使用量を比較し、電気使用量が以前と比べ大幅に減少している場合、契約アンペアの見直しを検討してみましょう。

例えば、家族構成の変化(世帯人数の減少)や、省エネ家電への買替えをしたご家庭で、契約アンペアを新築時や当初契約から見直していない場合、契約アンペアを下げられる可能性があります。

家電の同時使用を控えることでも、契約アンペアを下げられる可能性があり、電力需要のピークカットにも貢献できます。

なお、契約アンペアの変更は、ご契約の電力会社へお問い合わせください。

●節約のイメージ



※東京電力の場合

50A から 40A に ⇒ 年間: 約 3,400 円節約

50A から 30A に ⇒ 年間: 約 6,900 円節約

家全体の省エネにも取り組もう

省エネ改修により、家全体の断熱性能を高めると、より省エネで健康にもよい暮らしにつながります。例えば、熱の出入りの多い窓に対し、複層ガラスや内窓の設置を行うことで窓の断熱性が向上し、冷房効果が高まります。

このような住宅を推進するため、都では様々な補助制度を設けています。

詳細は東京都環境局「ゼロエミッションな住宅と住まい方」HPをご覧ください。

